

一層の認知度アップを

県コンクリート診断士会総会

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は19日、県職員会館において05年度定期総会を開き、事業計画などを打ち出した。

総会には委任状含め25人が出席。冒頭、石川会長があいさつに立ち「当会発足後、1年間の活動

を通してコンクリート診断士の存在が県内で広く認知されるようになってきた」と述べた上で「会員がメリットや価値を感じることでできる団体にしていく」と決意を新たに示した。

引き続き、議事に移ると04年度事業報告・収支決算、05年度事業計画・収支予算案を審議し承認。05年度事業計画では官公庁などに対する「コンクリート診断士」の認知度向上、新規入会促進、研修会開催、他団体との連携・情報交換などを行うことを決めた。

なお、総会後に意見交換会も行われた。



事業計画などを決めた県コンクリート診断士会の総会